



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年2月8日

上場会社名 モジュール株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 3043 URL http://www.modulat.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 松村 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理担当ゼネラルマネージャー (氏名) 藤井 隆徳 TEL 03-3556-2461  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,041	17.5	61	9.8	62	5.7	57	9.0
23年3月期第3四半期	886	—	56	—	59	—	53	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	4,223.44	—
23年3月期第3四半期	3,876.43	—

(注) 当社は、平成22年3月期より決算期を毎年5月31日から3月31日に変更しております。そのため、平成23年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載を省略しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,197	270	22.6
23年3月期	1,179	212	18.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 270百万円 23年3月期 212百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年3月期の業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,316	6.2	82	21.7	85	18.2	70	7.5	5,141.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	13,700株	23年3月期	13,700株
24年3月期3Q	一株	23年3月期	一株
24年3月期3Q	13,700株	23年3月期3Q	13,700株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」を御覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	2
4. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直し傾向が続きました。しかしながら、生産は持ち直しているものの輸出は弱含んでおり、企業収益は減少、欧州の政府債務危機の懸念など厳しい経済環境が続いております。

このような環境の中、「事業拡大のための基盤強化へ向けた全社的な業務効率化の推進」、「企業向けの継続的ITサービスへの本業回帰」や「新サービスの企画準備」などに継続して取り組んでまいりました。

#### ・ITサービス売上

当社の本業である「継続的ITサービス」の売上は、計画を若干上回って堅調に推移しており、「一時的ITサービス」の売上も、新規顧客の案件等があり順調に推移いたしました。

その結果、「ITサービス」全体の売上高は、765,997千円（前年同期比21.8%増）となりました。

#### ・商品売上

商品売上は、企業のIT投資抑制の影響など厳しい事業環境が続いておりますが、主要顧客の大規模なサーバーインフラ構築案件等を獲得したことにより、275,559千円（前年同期比7.1%増）となりました。

また、来期以降の成長を加速させるため、新たなサービスとして「ソフトウェア・サービス」「セキュリティ関連サービス」「スマートフォン系サービス」の準備を本格的に開始し、人的投資等を含む必要な投資を継続しております。

以上により、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,041,557千円（前年同期比17.5%増）、営業利益61,865千円（前年同期比9.8%増）、経常利益62,712千円（前年同期比5.7%増）となりました。また、今後の業績見通しを踏まえ慎重に検討した結果、当第3四半期累計期間において△4,331千円の法人税等調整額を計上したため、四半期純利益は57,861千円（前年同期比9.0%増）となりました。

なお、前記のとおり、当第3四半期累計期間において、新たなサービスとして「ソフトウェア・サービス」「セキュリティ関連サービス」「スマートフォン系サービス」の準備を本格的に開始したことにより、当社の従業員数は8人増加し、47名（前期末比20.5%増）となっております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は1,197,895千円となり、前事業年度末に比べ18,575千円の増加となりました。その主な要因は、減価償却による有形固定資産の減少等があったものの現金及び預金や売掛金および商品等が増加したことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ39,065千円減少し、927,602千円となりました。これは、買掛金及び前受金等の増加があったものの、設備関係未払金及び借入金等が減少したことによるものです。

純資産は270,293千円となり、前事業年度末に比べ57,640千円増加しました。これは、利益剰余金が増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は前事業年度末と比較して4.5%上昇し、22.6%となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期業績予想数値につきましては、平成23年5月11日公表時から変更しておりません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。また、変更があった場合には速やかに開示を行います。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	49,839	80,044
売掛金	100,888	115,993
商品	11,530	43,436
仕掛品	603	1,150
リース投資資産	71,894	66,498
1年内回収予定の長期貸付金	24,905	14,994
1年内回収予定の役員に対する長期貸付金	10,971	11,232
その他	28,642	50,627
貸倒引当金	△1,008	△1,159
流動資産合計	298,266	382,819
固定資産		
有形固定資産		
貸貸用資産(純額)	324,302	449,056
建設仮勘定	182,530	—
その他(純額)	7,853	5,969
有形固定資産合計	514,686	455,026
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	10,389	10,452
長期貸付金	355,493	351,062
役員に対する長期貸付金	167,944	159,495
その他	45,600	61,755
貸倒引当金	△304,019	△302,308
投資その他の資産合計	275,407	280,456
固定資産合計	881,053	815,076
資産合計	1,179,320	1,197,895
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	83,111	108,960
1年内返済予定の長期借入金	226,509	265,926
未払金	32,945	30,090
設備関係未払金	109,758	65,553
前受金	173,240	188,387
賞与引当金	9,949	6,322
その他	14,074	26,688
流動負債合計	649,587	691,929
固定負債		
長期借入金	315,664	235,673
リース債務	1,416	—
固定負債合計	317,080	235,673
負債合計	966,667	927,602

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	254,219	254,219
資本剰余金	154,217	154,217
利益剰余金	△193,524	△135,663
株主資本合計	214,912	272,774
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,259	△2,480
評価・換算差額等合計	△2,259	△2,480
純資産合計	212,653	270,293
負債純資産合計	1,179,320	1,197,895

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	886,109	1,041,557
売上原価	648,042	776,364
売上総利益	238,067	265,193
販売費及び一般管理費	181,699	203,328
営業利益	56,368	61,865
営業外収益		
受取利息	13,039	11,621
受取配当金	243	218
受取手数料	1,400	1,546
その他	518	1,250
営業外収益合計	15,201	14,636
営業外費用		
支払利息	9,180	11,086
支払手数料	2,583	1,160
為替差損	—	1,348
その他	449	194
営業外費用合計	12,213	13,789
経常利益	59,356	62,712
特別利益		
投資有価証券売却益	—	200
特別利益合計	—	200
特別損失		
固定資産売却損	13	—
固定資産除却損	6,000	0
解決金等	—	6,227
特別損失合計	6,013	6,227
税引前四半期純利益	53,342	56,685
法人税、住民税及び事業税	235	3,155
法人税等調整額	—	△4,331
法人税等合計	235	△1,176
四半期純利益	53,107	57,861

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。